NEWS 連携室 ニュース

平成29年度　災害訓練（地震想定）が実施されました

11月11日（土）の10時00分より、加古川中央市民病院にて休診日の日中に、南海トラフを震源としたマグニチュード7.5の地震が発生、加古川市で震度6強を観測したと想定した災害訓練が実施されました。内容は病院自体の被害の把握から、加古川市消防本部の協力をいただき、救急車の実車を使用した患者さんの搬送からトリアージなど本番さながらに起こりうる災害を念頭に、各自実際の動きを確かめながら訓練を行いました。

災害訓練の様子

平成29年度　新型インフルエンザ対策訓練が実施されました

12月9日（土）の13時00分より、加古川市在住の者が新型インフルエンザ発生国から帰国し、専門外来医療機関を受診した結果、新型インフルエンザと診断されたとの想定で、加古川中央市民病院にて当院・加古川市・東播磨圏域新型インフルエンザ対策協議会の主催により、新型インフルエンザの発生早期における病院及び相談窓口の対応について訓練を実施し、対応力の向上と関係機関の連携強化を目的に訓練が実施されました。

新型インフルエンザ対策訓練の様子

加古川市の災害対応病院の指定受けている当院では、これらの災害対応訓練を実施し役割を果たすべく準備をしています。

地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

患者支援センター地域連携室
予約専用 TEL.079-451-8651／FAX.079-451-8653
そ の 他 TEL.079-451-8652／FAX.079-451-8654
http://www.kakohp.jp/medical_person/

加古川中央市民病院 地域連携情報誌

きらり

vol.10
2017年12月

加古川市民病院機構　理念
いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、
頼られる病院であり続けます

生命の活動と輝きを支えます——

Contents

巻頭言 循環器内科の紹介 …… 2
診療科紹介 …… 3
《特集》リハビリテーション …… 4-5
登録医紹介 …… 6-7
連携室ニュース …… 8

巻頭言

循環器内科の紹介

院長補佐
(兼)循環器内科 主任科部長
(兼)診療支援部長
清水（しみず） 宏紀（ひろき）

新病院が開院してはや1年半が過ぎようとしています。我々循環器内科は神鋼加古川病院時代から、循環器救急は365日24時間体制で受け入れてきました。新病院へ移行してからもさらに救急体制を充実させ、循環器直通PHSを2台用意し、クリニックの先生からの循環器救急患者をスムーズに受け入れるようにしています。また、『胸痛』をキーワードにドクターカーの運用も行っています。

特に、急性冠症候群に対しては、90分以内のFMC（first medical contact）to device time【初期対応から再潅流までの時間】を目標にしています。一日に急性心筋梗塞患者が3名搬送されることもあり2室ある血管造影室を同時に並列で運用する時もあります。ICUは12床で心臓血管外科との共用で運用しています。特に冬場は急性心不全患者が多く搬送されるため満床に近い状態となります。また、大動脈解離、動脈瘤の切迫破裂の患者さんの紹介も増えました。ドクターヘリで遠方から搬送されるケースもあります。循環器内科スタッフ13名、専攻医5名（循環器専門医11名、インターベンション学会専門医1名、不整脈専門医4名）が在籍し、虚血性心疾患、心不全、不整脈、重症下肢虚血などの患者さんを24時間体制で受け入れています。今年の実績は1-10月のデータでPCI 351例（緊急PCI 167例）、カテーテルアブレーション234例、デバイス植え込み127例、EVT（下肢血管治療）179例です。

ご紹介していただきました患者さんは、紹介元であるかかりつけ医で継続治療していただき3-6か月後に再診させていただいています。また病状が安定した患者さんは、かかりつけ医での継続治療をお願いしています。

これから気温が下がり、特に寒波が到来したときは心血管の疾患が増加します。入院治療が必要なときはいつでもご連絡してください。

今後も円滑な連携のもと、一人でも多くの救急患者さんの救命に努めてまいりますので、よろしくお願い致します。

診療科紹介

脳神経外科
神経内科

脳神経外科

平素は貴重な患者さんのご紹介・ご高配を賜りありがとうございます。

脳神経外科は数年来1人体制で診療を行い、外来及び小児疾患の定期手術を主に行ってまいりましたが、2017年10月より新たに血管内治療を専門とする木戸口慶司医師を迎え、ようやく複数人で診療を行う事が出来るようになりました。現在これまで対応困難であった脳血管障害の外科的治療（血管内治療）にも対応できるように準備を進めております。

近年治療デバイスの発達に伴い血管内治療の進歩は目覚ましく、定番の内頚動脈狭窄症や脳動脈瘤、血管奇形などをはじめとして多くの脳血管障害が対象となってきております。脳梗塞に関しましても血管内治療の適応となる病態がありますので神経内科と連携をとりつつ治療をすすめてまいりますのでご相談ください。

また、引き続き小児脳神経外科領域の疾患は積極的に受け入れてまいります。頭囲拡大や頭蓋変形、頭部-背部正中線上の外表奇形、その他頭蓋内病変等々疑われる様でしたらぜひご紹介ください。

脳神経外科　主任科部長
山元（やまもと） 一樹（かずき）

神経内科

神経内科　主任科部長
石原（いしはら） 広之（ひろゆき）

神経内科では、脳・脊髄などの中枢神経～末梢神経・筋肉まで神経系の幅広い疾患を扱っております。急性期疾患としては、脳卒中、脳炎・髄膜炎、てんかん、ギランバレー症候群などが多く、スタッフ3名で24時間365日オンコール体制にて対応しております。高齢化社会となり、動脈硬化のみならず心房細動を持つ症例が増えています。脳梗塞予防にDOACなど抗凝固療法の進歩もありますが100%とは言えませんので、脳梗塞を発症した際には速やかな対応が必要です。特に発症4.5時間以内の超急性期脳梗塞におきましては、rt-PAによる血栓溶解療法が適応となりますので、可能な限り早く来院・搬送していただくことが重要です。また、発症4.5時間を過ぎている場合でも、脳神経外科での血管内治療が可能な場合もありますのでご相談ください。

慢性疾患としては、パーキンソン病、認知症疾患などの神経変性疾患も増えてきています。根本的な治療法がまだない筋萎縮性側索硬化症などの神経難病も数多くありますが、先生方との病診連携で患者さんにより良いケアが提供できればと考えております。一般診療で数多く経験する頭痛・しびれ・めまいといった症状についても、お困りの症例がありましたらお気軽にご紹介ください。

特集 リハビリテーション

生命の活動と輝きを支えます。

リハビリテーション科

整形外科 科部長
(兼)リハビリテーション科 主任科部長

織邊（おりべ） 隆（たかし）

当院に入院された患者さんに対して早期離床を図り、安静による体力の減退を最少にとどめ、体力の回復を促し、退院後スムーズに日常生活が行えるようリハビリテーション科では支援を行っています。

リハビリテーション科は、理学療法士(15名)、作業療法士(5名)、言語聴覚士(3名)、鍼灸マッサージ師(1名)で構成されています。各々は専門理学療法士2名、認定理学療法士5名、認定作業療法士2名、心臓リハビリテーション指導士5名、呼吸療法認定士11名、糖尿病療養指導士2名、がん患者リハビリテーション研修修了者17名などのさまざまな認定資格を取得し高度な技術をもって日々の診療を行っています。

リハビリテーションの対象は運動器リハビリテーション、心大血管疾患リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、脳血管疾患等リハビリテーション、がん患者リハビリテーション、廃用症候群リハビリテーションが中心です。

現在は入院リハビリが中心ですが今後は地域の先生方と連携を密接にとりながら患者さんの退院後のADLの維持、向上に努めることができたらと考えております。

feature

リハビリテーション室

診療支援部リハビリテーション室主任技師長代理
兼　医療安全担当課長

三枝（さえぐさ） 秀明（ひであき）

平素より、在宅復帰やリハビリテーションの継続が必要となる方の連携におきまして、地域の先生方並びに関係者の方々に厚くお礼申しあげます。

当院でのリハビリテーションの対象は、新生児からご高齢の方まで入院された方に対し、心大血管疾患・脳血管疾患・呼吸器・運動器・がんのリハビリテーションを医師らと連携をとりながら、全身状態に合わせ入院早期より提供しています。また、私たちは質の高いリハビリテーションを提供するために資格取得や学会発表などを通じて個々の専門性を高め、医師・看護師・地域連携室職員らとともに5大センターの診療と密接に関わっています。

チーム活動としましては、心臓リハビリテーションチーム、呼吸ケアチーム、褥瘡対策委員会、NST委員会、緩和ケアチーム、腫瘍血液内科チームなどにも参画しています。

加古川中央市民病院に入院された患者さんが住み慣れた環境にお戻りいただけるよう、地域の関係機関の皆様とより一層の連携を図って参りたいと存じますので、今後ともご指導ならびにご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

主な資格取得（のべ人数）

- 専門理学療法士(2名)
- 認定理学療法士(6名)
- 認定作業療法士(2名)
- 心臓リハビリテーション指導士(5名)
- 呼吸療法認定士(11名)
- 呼吸ケア指導士(初級、1名)
- 糖尿病療養指導士(2名)
- がんのリハビリテーション研修会修了(16名)
- 認知症ケア上級専門士(1名)
- 日本摂食嚥下リハビリテーション認定士(1名)

など

職種グループ

理学療法部門

理学療法士は、「身体作りと生活動作」の専門家として、身体機能の改善に向けた運動療法や早期離床、ならびに合併症を予防するために、循環器・運動器・呼吸器・がん・新生児や小児など、支援が必要とされる方の早期リハビリテーションに取り組んでいます。特に心疾患は心臓血管センターと連携し、急性期・回復期・維持期に至るまで治療後の回復と再発予防に取り組んでいます。

作業療法部門

作業療法士は、「その人らしい生活」の獲得を目指し、その時の症状に合わせて基本的な機能(精神・認知機能を含む)の改善や生活行為の練習を早期から行っています。関わる領域は多岐に渡り、ベビーセンター、小児科病棟での発達・退院支援から、腫瘍・血液内科、消化器センターをはじめとする急性期や緩和期などがん患者のリハビリテーションに積極的に関わっています。

言語聴覚療法部門

言語聴覚士は、「話す・聞く・食べる」のスペシャリストとして、早期のリハビリテーションに取り組んでいます。特に、嚥下障害に対して耳鼻咽喉科と連携し、嚥下外来(専門外来)にて嚥下内視鏡検査等を用いて、嚥下評価や必要性に応じて治療や助言をさせていただいております。また、口唇裂・口蓋裂治療チームに参加し、新生児・小児の哺乳やことばの支援にも取り組んでいます。

早期リハビリテーション

毎朝、ICUの回診やカンファレンスに同行し、早期離床が進むように医師・看護師と情報共有をしています。また週1回呼吸ケアチームの回診にも参加しています。

新生児・小児リハビリテーション

NICUからPT・OT・STが介入し、発達や退院に関する支援に取り組んでいます。小児科病棟では、呼吸器疾患や神経疾患など急性発症に対し医師と連携し介入を行っています。

心臓リハビリテーション

心筋梗塞や開心・開胸術後、心不全の急性増悪に対し集中治療室から早期離床に取り組んでいます。心臓リハビリテーションチームや心不全チームとも連携し、退院後の心臓リハビリテーションによる再発予防に取り組んでおります。

運動器リハビリテーション

変形性関節症をはじめとする関節疾患や外傷疾患に対し術後翌日から取り組んでいます。人工関節センターに参加し、人工関節術後の歩行やADL獲得、および機能改善に向けて整形外科医師や看護師と連携しています。

呼吸器リハビリテーション

呼吸器内科・外科と連携し、重症の呼吸不全や呼吸器外科術後などの患者に対し早期介入を行っています。また、入院中にHOT導入が必要となった方の評価やADL指導にも取り組んでいます。

がんリハビリテーション

当室スタッフの半分以上が「がんのリハビリテーション研修」を修了し、がん集学的治療センターで行われている各臓器のがんや腫瘍・血液疾患などに対する治療・緩和ケアに入院早期より対応しています。

～その他の活動～

リハビリテーション室主催の公開研修会や加古川医師会のご支援を受けて、各分野のエキスパートの講師による講演会を開催し、関連機関とFace to Faceの連携を目指しています。また、理学療法部門では、専門・認定理学療法士による日本理学療法士協会の「臨床見学受け入れ施設」として認定を受けています。

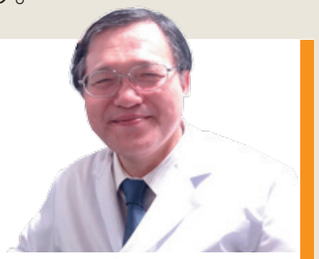
登録医 紹介

当院と連携いただいている登録医療機関をご紹介します。

いのまた循環器内科

診　療　科　内科／循環器内科
駐車場台数　10台
所　在　地　加古川市加古川町友沢458-3

TEL. 079-420-0123



院長　猪股 工矣 先生

15年間の高砂市民病院勤務を経て、平成5年明姫幹線播州大橋東詰に循環器内科を開業しました。高血圧、狭心症、心筋梗塞、不整脈、弁膜症等の循環器疾患以外にも、呼吸器疾患、糖尿病、高脂血症をはじめ広く内科全般をみています。カラー超音波検査、24時間心電図、肺機能検査、動脈硬化度検査の他、睡眠時無呼吸検査と治療、管理栄養士による栄養指導もしています。採血結果は理解し易いようにグラフ化して説明しています。

また、産業医の経験から『未病』が重要と考え、20年前から禁煙啓蒙活動や禁煙指導をしています。医師会には『禁煙ひろめ隊』が組織されており、メンバーの一人として小中学校や企業で禁煙防煙講座も行っています。当院では健康保険で禁煙治療が出来ます。

昨今複数の重篤な疾病をお持ちの方が多くなり、加古川中央市民病院の専門医の先生方に助けていただき感謝しています。今後も病診連携、診診連携を通じて地域医療に貢献できる医院でありたいと思っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前　9:00〜12:30	●	●	●	●	●	●	——
午後16:00〜18:30	●	●	●	——	●	——	——

*禁煙外来有（要予約）　*木曜日は代診です

MAP

しょうせ脳神経外科クリニック

診　療　科　脳神経外科／リハビリテーション科
駐車場台数　20台
所　在　地　加古川市加古川町本町140-3

TEL. 079-454-8040

院長　庄瀬 祥晃 先生

当院は、平成15年2月より、加古川中央市民病院に近い、加古川市加古川町本町（国道2号線西行沿い、加古川市中央消防署の手前）にて開業させていただいております。

脳神経外科、リハビリテーション科を専門として、CTscan、頸部超音波エコーなどを使って脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、頭痛などの脳疾患全般のほか、高齢化に伴い急増している認知症、および生活習慣病の管理など脳卒中に対する予防医学にも積極的に取り組んでおります。

「脳神経外科専門医」としてのみならず、「かかりつけ医」として地域の皆様の予防を含めた診療ならびに治療を行っており、地域の方々から親しまれ、何でも相談していただけるクリニックでありたいと思っております。

加古川中央市民病院の各科の先生方には、いつも大変お世話になっております。これからも今まで以上に連携を密にして地域医療に貢献できればと考えております。

今後ともご指導のほどよろしくお願いします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前　9:00〜12:00	●	●	●	●	●	●	——
午後16:00〜19:00	●	——	●	——	●	——	——

※日曜日、祝祭日:休診

MAP

はすだ整形外科クリニック

診　療　科　整形外科
駐車場台数　17台
所　在　地　加古川市西神吉町大国72-3

TEL. 079-451-5885

院長　荷田 啓一郎 先生

平成19年から7年間、旧加古川市民病院、加古川西市民病院で勤務させていただき、平成27年5月に旧西市民病院に近い西神吉町で開業いたしました。

東西の市民病院が合併して加古川の東岸へ移転して以降も、以前の西市民病院の頃と変わらず精密検査や手術、緊急処置が必要な場合に迅速に受け入れていただき、非常に感謝しております。逆に中央市民病院で治療方針が決定し、継続治療が通院診療で可能な近隣の方は、当院へご紹介いただいております。

これからも中央市民病院と診療の方針を共有し、包括的な地域連携医療の枠組みに開業医として加わりたいと考えております。

今後ともよろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前　9:00〜12:00	●	●	●	●	●	●	——
午後16:00〜18:30	●	●	●	——	●	——	——

MAP

沼田クリニック

診　療　科　消化器内科／外科／リハビリテーション科
駐車場台数　30台
所　在　地　加古郡稲美町加古5345

TEL. 079-492-1330

院長　沼田 典久 先生

当院は2000年に私の生まれ育った地、稲美町に開業し、以来地域に根ざした医療を提供してまいりました。

加古川中央市民病院から当院まで、東播磨南北道路を利用すると、自動車でわずか20分程度で到着できます。

私の外来診療のモットーは、『患者様に、来院された時よりも、心身ともにお元気になって帰って頂く』ことです。

当院の特徴は主に2つあります。

①日曜日も診療しています。

日曜日の午前中も外来診療をしており、平日は仕事で来院できない方や、日曜日しかご家族に連れて来てもらうことができない高齢者の方に便宜を図っております。

②訪問診療（ターミナルケアを含む）しています。

訪問看護ステーションと連携し、寝たきり患者さんの訪問診療をしており、またご自宅で最期まで過ごすことを希望される癌の終末期の患者さんのお手伝いもしています。

また、当院は高齢者グループホームも運営しており、認知症に対するケアも積極的に行っております。

これからも、さらなる研鑽を重ね、より良い医療の提供に尽力する決意でございます。当院への変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前　8:15〜12:00	●	●	●	●	●	●	●
午後15:30〜19:00	●	●	●	●	●	——	——

MAP